

## ● 防犯講習会開催(防犯防災部会)



▲玉川駐在所の田中雄也さん

防犯防災部会は、地域活動部会と共同で第14回目の防犯講習会を3月2日(土)市民交流センターで、昭島警察署、昭島市生活コミュニティ課及び、東京都推薦の全国消費生活相談員協会の協力で開催しました。

最初に昭島警察署玉川駐在所の田中雄也さんからは

**振り込め詐欺事件の状況についての説明報告。**

昭島市内では、昨年度20件発生し、被害総額は3,000万円であった。被害は全国的に高止まり傾向にある。被害防止には市民の協力が不可欠であり、昭島警察署も銀行、JA、コンビニ、郵便局などと連携協力をいただいている。

詐欺の手口は、例えば、金融機関を名乗り“百貨店でも使えるカードに交換できます”ので、口座番号と暗証番号を知らせてほしい。“元号が変わるとあなたのカードが使えなくなるので交換に市の職員が行く”など様々。振り込め詐欺のことを他人事と思わず家族の話題にしてほしい。

昭島市生活コミュニティ課の小森秀継さんからは

**「命を落とさないために」と講演。**

昭島警察署管内の犯罪件数は、昨年度900件、強盗から自転車泥棒などを含めた数で113,000人の人口からは被害に遭う割合は1%に満たない数字ではあるが、被害に遭わないためにはどうすれば良いか。例えば、空き巣狙いでは、すぐに戻るからと鍵をかけないで外出。高層階の自宅で窓に鍵をかけていないと屋上から侵入してくる。侵入盗で怖いのは家人と鉢合わせして居直り強盗になることがある。強盗になると命にかかわる危険も考えられる。犯罪はちょっとした隙から発生し、命にかかわる事にもつながるので、日常的に鍵をかける習慣を身につけるよう留意点を話された。

他に、ひたたくり被害に遭わないために道を歩くときは、ショルダーバック等の荷物を車道側の手・肩には持たないこと、仮に被害に遭った時は、引きずられ転倒による受傷等为了避免のため、荷物は必ずしも死守しない、など注意点を話された。



▲昭島市生活コミュニティ課の小森秀継さん



▲家屋修理の悪質業者とのロープレ劇場

左が民生委員、中央二人が老夫婦、右が悪質業者

“屋根の修理が必要ですよ”と、近くで作業している業者だと言って屋根の点検を強要され勝手に家屋に入り腐食した材料を見せられ、老夫婦は息子に相談してからと思ったが、修理代のことを業者に言ったところ年金手帳を出させ、  
**“大丈夫、銀行が全て支払ってくれる”**  
と言って業者と契約してしまった。  
悪質業者の手口の寸劇です、息子に相談してからと反省、又このようなときはすぐに消費者相談窓口へ連絡しましょう。